



第34回清掃コンクール 優勝は3年1組!

7月21日(金)、梅雨の中休みの晴天の中、本年度の清掃コンクールが実施されました。昨年度から、教室のみの採点として新しい方式での清掃コンクール。しかし、本校生徒は、採点される、されないに関わらず、どの清掃区域においても丁寧に、真剣に取り組んでいました。採点者は、校長、副校長、事務長の3名。甲乙付けがたく、高得点での競り合いを制したのは3年1組。2位は3年2組。3位は2年2組でした。



表彰式で、泉校長は「コンクールがあるからということではなく、これからも校舎を大切に使ってほしい」と講評を述べました。

生徒会役員認証式・賞状伝達式

7月21日(金)、授業納め式に先立って新生徒会役員へ認証状が、旧生徒会役員へ感謝状が贈呈されました。新生徒会長の大鳥直樹君(2-2)は「先輩のあとを引き継ぎ、



学校を栄えさせていきたい。」と決意を述べました。

次いで、旧執行部を代表して野中麻衣さん(3-2)が「皆さんの支えが有り今日まで務めることができました。

新執行部の皆さん、リーダーとしての自覚を持って頑張ってください。」とエールを送りました。



次いで賞状伝達式では、長瀬歩美さん(2-2)に管打楽器ソロコンテスト北東北大会金賞の賞状が、小林茉莉さん(2-2)、戸草内有紗さん(2-2)に岩手県高等学校書道作品コンクール奨励賞の賞状が伝達されました。



授業納め式 校長講話より

7月8日(土)の野球の試合では、最後まであきらめない野球部の姿勢、若山団長はじめ応援団の

リード、吹奏楽部の演奏に合わせ一丸となった応援。大変素晴らしかった。

1年前の校長講話で言霊について話した。顔を見て話せば何の問題もない一言がSNSでは一大事になることもある。書き込むとき、相手にはその瞬間、他にやるべきことが有るかもしれないと考えたことはあるか?携帯からの自立、スマホの呪縛からの自由。県高P連と校長協会から夜9時以降の携帯使用の自粛を呼びかけている。

社会人として求められるコミュニケーション能力。ファストフード店やコンビニでのマニュアルどおりの客への一言。必要なのは、「もう一言添える」ことではないか。

3年生、この夏が勝負。考えれば考えるほど、勉強すればするほど自分の弱さが見えてくる。そこを乗り越えてほしい。充実した夏休みになることを期待する。